

『交流部会』の“今日この頃&あれやこれや”

住民の皆様！！今までに経験した事のない社会環境ですが、日々のご健康をお祈り申し上げます。

さて、「交流」とは、辞書を見ると「異なる地域や組織の人や、ものが互いに交わること」と、あります。近年、SNS、スマートフォン等の急速な発展で、**情報**や**もの**が豊かになる一方で、**心**の豊かさが少しずつ失われて行っているような気がします。この様な時代だからこそ、「朝霧校区まちづくり協議会」では4つの部会で色々な取り組みをしています。

「交流部会」は、「あらゆる年代が笑顔で交わる地域づくり」をビジョンに活動しております。伝統行事である夏まつり（盆踊り大会）、左義長（とんど祭）を主に、世代間交流が、活発になる様、取り組んでいます。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で「三密」を避ける為、40年間近く続き、今年は8月22日開催の「夏祭り盆おどり大会」を中止することになりました。

「新たな夏まつり」のスタートの年として計画していましたが、非常に残念でなりません。

しかしながら、このような「コロナ禍」の中でこそ、出来そうなことを検討し、私たちの生活を出来るだけ豊かなものとしていくことが大切です。

住民の皆様！！

このような時こそ皆様の意見が必要です。「こんな事、あんな事が出来る」どんな意見でもお聞かせください。

明日の朝霧を皆の手で作っていきましょう。ご意見お待ちしております。

※余談※

「三密」といえば新型コロナウイルスの集団発生を防ぐための3つの避けるべき、密である「密閉・密集・密接」を思い浮かべる方が多いと思います。

ところが、そもそも「三密」とは「空海が、ひらいた真言宗をはじめとする密教の教え」だそうです。それは、「身密（しんみつ）（身体、行動）・口密（くみつ）（言葉、発言）・意密（いみつ）（こころ・考え）」についての教えだそうです。日常生活で活かせるそうです。

交流部会長

嶽肩 純一